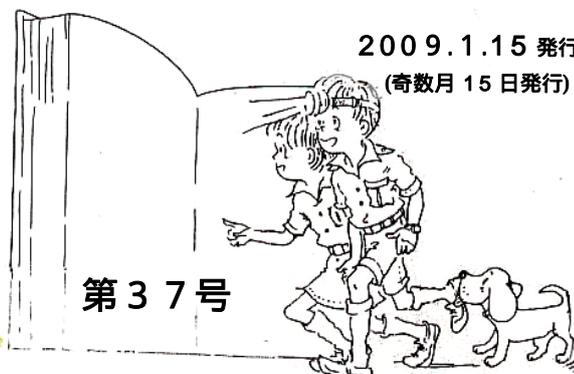


にのみやまちとしょかん 図書館だより

第 37 号



特集 文学賞 (作家名冠賞)

第 140 回芥川賞・直木賞の受賞作の発表が 1 月に行われ、文学作品の話題をなにかと耳にする機会が多くなっています。今回の特集は、文学賞特集の第 4 弾として作家の名前が冠に付く主な文学賞について紹介します。賞の特徴などを参考に、受賞作品を読んでみてはいかがでしょうか？(下記に掲載の受賞作品は全て図書館に所蔵しています)

<文学賞特集バックナンバー> 13 号: 芥川賞・直木賞 19 号: 純文学誌主催の新人賞 23 号: ノーベル文学賞

'08.12 現在

発表月	賞名 ((公)は公募)	賞または受賞作品の特徴	近年の受賞作品/著者	主催	賞品/賞金 (正賞副賞)	創設年 開催数
1月 7月	芥川龍之介賞	純文学の新人に贈られる。新進作家の登竜門として最も権威ある賞	時が滲む朝 楊逸	日本文学振興会	懐中時計 100万円	昭和 10 139回
1月 7月	直木三十五賞	新進・中堅作家の大衆文芸作品に贈られる。芥川賞と並び権威ある賞	切羽へ 井上荒野	日本文学振興会	懐中時計 100万円	昭和 10 139回
3月	吉川英治文学賞	大衆文学の作家の最高賞。昭和 55 年に新たに新人賞も創設された	中原の虹(全4巻) 浅田次郎	吉川英治国民文化振興会	賞牌 300万円ほか	昭和 42 42回
4月	鮎川哲也賞(公)	創意と情熱溢れる鮮烈な推理長編。『鮎川哲也と十三の謎』が発端の賞	七つの海を照らす星 七河迦南	東京創元社	ソブ像 印税全額	平成 2 18回
4月	川端康成文学賞	短編小説でその年度にもっとも完成度の高い作品	タタド 小池昌代	川端康成記念会	記念品 100万円	昭和 48 34回
4月	新田次郎文学賞	歴史、現代にわたりノンフィクション文学または自然界を材に取った作品	頼山陽(上・下) 見延典子	新田次郎記念会	記念品 100万円	昭和 57 27回
4月	松本清張賞(公)	ジャンルを問わぬ良質の長編エンターテインメント小説	一朝の夢 梶よう子	日本文学振興会	時計 500万円	平成 5 15回
5月	伊藤整文学賞	小説部門と評論部門がある。氏と縁の深い小樽市内の有志により創設	蟹と彼と私 荻野アンナ	北海道新聞社 小樽市ほか	ブロンズ像 100万円	平成 2 19回
5月	江戸川乱歩賞(公)	推理作家の登竜門。新進推理作家の発掘と育成を目的として創設	誘拐児 翔田寛	日本推理作家協会	江戸川乱歩像 1000万円	昭和 29 54回
5月	大江健三郎賞	大江氏が、可能性、成果をもっとも認めた「文学の言葉」の作品を選ぶ	夕子ちゃんの近道 長嶋有	講談社	他言語への翻訳 世界での刊行	平成 19 2回
5月	太宰治賞(公)	小説の新人賞。一時中断したが、没後 50 年を機に平成 10 年に復活	チューバはうたう・mit Tuba・ 瀬川深	筑摩書房 三鷹市	記念品 100万円	昭和 39 24回
5月	三島由紀夫賞	小説、評論、詩歌、戯曲など、文学の前途を拓く新鋭の作品	切れた鎖 田中慎弥	新潮文芸振興会	記念品 100万円	昭和 62 21回
5月	山本周五郎賞	すぐれて物語性を有する新しい文芸作品	果敢 隠蔽捜査 2 今野敏	新潮文芸振興会	記念品 100万円	昭和 62 21回
7月	開高健ノンフィクション賞(公)	広いジャンル、自由なものの見方、方法によるノンフィクション作品	最後の冒険家 石川直樹	集英社	記念品 300万円	平成 15 6回
8月	谷崎潤一郎賞	全文壇を対象に小説・戯曲から選ぶ。中堅作家の代表作の受賞が多い	東京島 桐野夏生	中央公論社	時計 100万円	昭和 40 44回
8月	紫式部文学賞	前年に刊行された文芸作品・研究で、女性作家のものに限る	とげ抜き 新築鴨地蔵縁起 伊藤比呂美	宇治市 同教育委員会	ブロンズ像 200万円	平成 3 18回
9月	柴田錬三郎賞	現代、時代小説を問わず、真に広汎な読者を魅了する作品	愛に似たもの 唯川恵	集英社	記念品 300万円	昭和 63 21回
10月	泉鏡花文学賞	泉鏡花の文学の世界に通ずる幻想的でロマンの薫り高い作品	草すべり その他の短篇 南木佳士	金沢市	八稜鏡 100万円	昭和 48 36回
12月	大佛次郎賞	散文作品として質が高い作品、人間精神への鋭い洞察を含む作品	出星前夜 飯嶋和一	朝日新聞社	賞牌 200万円	昭和 48 35回

新しく入った本 CD DVD

2008年11~12月新着分より
(著編者/出版社/出版年月/請求記号)



『直江兼統の義と愛』
(火坂雅志/日本放送出版協会/08.11/289.1材)
今年のNHK大河の顔は直江兼統。原作は『天地人』で、これまではないタイプの戦国武将として登場。本書では兼統と周辺人物が歴史的に詳しく解説され、興味が増します。

画像なし

『タニアのドイツ式キッチン - 合理的であたたかな、料理と台所の作り方 - 』
(門倉多仁亜/ソフトバンククリエイティブ/08.9/596.9カ)
ドイツ人の母と日本人の父を持つ著者が、ドイツの食生活とキッチンについて紹介しています。手軽に作れる料理や保存食のレシピなど暮らしに役立つアイデアが満載です。

画像なし

『カレンダーから世界を見る』
(中牧弘允/白水社/08.7/449.8ナ)
時間のはじまり、くぎりかた。世界には多様なカレンダーがあり、メディアに負けない情報が得られるという。世界は一筋縄ではいかない! 深く知りたくなる「考暦学」とは?

画像なし

『道ばたに咲く草花の木版画 - 子どものころを思い出す - 』
(高橋幸子/日貿出版社/08.9/733.0タ)
季節ごとに咲く身近な草花が、優しい版画と文章で綴られています。あたたかみのある作風から「こころの版画家」と呼ばれている著者の、草花への愛情が伝わってきます。

画像なし

『佐藤可士和デザインペディア』
(佐藤可士和/マガジンハウス/08.10/674.3サ)
デザインとはビジョンと哲学だという著者が、大学のグッズやプラントのロゴなど自身の手がけた作品や、よく目にするものを例にあげデザインを旅する視覚的に楽しめる一冊。

画像なし

『おんな作家読本 明治生まれ篇』
(市川慎子/ポプラ社/08.9/910.2イ)
明治生まれの女性作家たちの魅力と作品が紹介されています。他の作家との交流や愛用品などからは、彼女たちの人柄が偲べれます。気楽に読める「国語便覧」のような一冊です。

画像なし

録音 CD

『イン・エッセンス』
(ケイコ・リー歌/69分/235リ)
神秘的なディープヴォイスと自在なアレンジで、自身の青春時代を彩ったヒットソングの数々をカバー。ポップテイストとジャズスピリットが溶け合う一枚です。

画像なし

映像 DVD (演奏者、出演者/収録時間/請求記号)

『レナードの朝』
(ベニー・マーシャル監督/ロバート・デ・ニーロ(ほか)/120分/778.2レ)
嗜眠性脳炎という病に^{あらが}抗いながらも刻一刻と侵され再び眠りに落ちてゆく残酷さをデ・ニーロがリアルに演じています。患者と医者との友情に心打たれる作品です。

画像なし



今月の紹介本
『アイヌ神謡集』
(知里幸恵/岩波書店/
78.8/B 929.2 7)

昨年6月アイヌ民族を先住民族とする国会決議が成立しました。また2月7日には、北方領土の日があります。知っているようで知らない北国の文化や歴史。今月は、カムチャッカ半島を含む北海道以北の地域に関わる図書を集めました。

ご紹介する本は、アイヌに生まれた知里幸恵が編んだ『アイヌ神謡集』です。アイヌ民族の口承文学であるユーカラの中から神謡(神々が自分の体験を語る形式の物語)13篇を選び、音をローマ字で表記し和文対訳を付したもので、「銀の滴降る降るまわりに」という名訳で知られています。幸恵は本の完成を待たず大正11年に19歳で世を去りましたが、自然と人間との関わりを大切にアイヌの魂を詩情豊かに描いた本書は人々に深い感動を与え、民族の誇りを取り戻す力となり、今なお輝きは増しています。

こどものほんコーナーから



おすすめの一冊
『ぶんぶんぶるるん』
バイロン・バートン作
ほるぶ出版
77.12
E 11ト

みつばちが、おうしのおしりに「ちくり」とさしたら、さあたいへん...次から次へやつあたり。そこら中で大騒動。動物たちは困ったり怒ったり。独特な色使いと線が魅力的なバートンの絵本です。「今年はおし年だよ」とお話ししながらよんでみてください。

図書館発見

お仕事紹介

展示コーナー



図書館内には、テーマごとに本（または AV 資料）を展示しているコーナーが 7ヶ所あります。毎月かわるエントランス（一般書） 児童、ティーンズ展示の他、隔月の AV 展示、3ヶ月毎の書庫の本紹介コーナー、追悼展示やその時々資料を提供する不定期の特設展示（一般書、児童書）です。今回はこれらの展示コーナーに関する仕事について紹介します。

特設以外の展示コーナーは、職員が一人ずつ順番で担当しています。まずは展示月の数週間前に、時節やその時々話題、紹介したい分野などのテーマを決めます。テーマ決め、これが一番のポイントとなるところです。テーマが決まると、それに関連した本を探し出し、展示内容にふさわしいかどうか選別します。そして本のデータを本来並んでいる書架から展示コーナーの書架に変更し、リストを作成します。この作業は展示月前日の館内整理日に行い、それぞれのコーナーに作成したリストと本を並べ、ディスプレイをします。展示期間中は貸出など本の動きに注意をし、足りないようならその都度補充をします。展示期間後は本を撤収してデータを元に戻し、リストは保存します。ここまでがその月の展示担当の仕事です。

毎月展示コーナーの本を楽しみにしているというお声も頂いています。また趣向を凝らした児童やティーンズ展示のディスプレイは、大人の方にも喜ばれています。今後も、皆さまに手にとって頂ける資料の提供に努めていきたいと思っています。

ベストオーダー
2008年 11月～12月
この期間に予約が多かった本です

【一般書 ベスト10】

- 1 ガリレオの苦悩 / 東野圭吾
- 2 聖女の救済 / 東野圭吾
- 3 イノセント・ゲリラの祝祭 / 海堂尊
- 4 告白 / 湊かなえ
- 5 悼む人 / 天童荒太
- 6 流星の絆 / 東野圭吾
- 7 オリンピックの身代金 / 奥田英朗
- 8 チェーン・ボイズン / 本多孝好
- 9 チーム・バチスタの栄光 / 海堂尊
- 10 とんび / 重松清



ふう～ん

灯油ポンプの正式名称は？

石油燃焼器具用注油ポンプです。ちなみにドクター中松氏が中学生のとき、母親が醤油の詰め替えに苦労していたのを見て考えたとき「醤油チュルチュル」が商品化のもとになったという説もありますが、定かではありません。

二宮ゆかりの人物

そのだ こうきち
園田 孝吉 (実業家・男爵)

『二宮町近代史話』に二宮と別荘についての章があります。明治期の中ごろから、保養地や転地療養地として二宮には各界の著名人達が続々と居を構えはじめました。今回はその中の一人、園田孝吉氏(1848～1923)を紹介します。

氏は外交官として長い期間ロンドンに駐在し、明治23年外務省を辞め、翌年3月横浜正金銀行（東京銀行の前身）頭取、さらには十五銀行（皇族・華族の出資により設立）頭取にと就任しました。在職中は日本国内外の金融業界の発達に貢献し、明治後期から大正にわたって実業家として名を馳せました。大正4年67歳の時、持病悪化のため十五銀行頭取を辞任、吾妻村中里に別荘と果樹園を造り、2銀行の重役会議出席のため、週に一度上京するという療養生活に入りました。果樹園には梨を植え、県の農産試験所技師を顧問として迎え自らも鋤鋤をとり、除草・施肥・また梨の実に袋を被せたり出来る程健康も回復し、悠々自適の田園生活を送っていました。第7代二宮町長 市川佐太郎氏の回顧録には、^{ぶり}鱒がとれるとそれを持って訪ねては銀行についての話を聞いたことや、別荘には電話が架設されていないことを不思議に思い尋ねると「せめて田舎に来た時ぐらい、俗世間を離れてのんびりしたいからだ」と言われたことなど、当時の園田氏の様子が書かれています。

園田氏は温厚な性格で後輩や近親者に慕われ、二宮の別荘にはいつも多くの客が訪れ賑わっていたようです。特に梨の季節になると親戚友人らを二宮に招待し、自ら「梨の会」と名付けて年中行事の一つとして楽しみにしていました。

た。また、高村光太郎が園田氏の胸像制作のため、氏の写生をしに二宮の別荘に訪れたこともあり、まだ無名だった高村光太郎がフランスから帰国後、人から依頼された初めての作品がこの胸像でした。そのため随分はりきって制作し、特別印象深いものであると光太郎自身が記しています。



授爵当時の肖像
(大正8年72歳)

その後、園田氏は実業界に於ける功績が認められ大正7年に男爵を授けられました。大正12年9月1日、前日催されていた「梨の会」で別荘に滞在中だった4人の客と関東大震災に遭い、その内の2人の客と共に建物の下敷となり75歳で命を落としました。『二宮町近代史話』の関東大震災の思い出の章には亡くなった男爵の遺体を東京まで移送した時のことが書かれています。男爵亡き後の別荘と果樹園は大正15年東京大学農学部の二宮果樹園として開園しました。それから80年近く親しまれてきましたが、平成20年3月に閉園されました。

このコーナーでは、二宮にゆかりのある人物や文学作品等をご紹介します。ここで紹介された人物や作品関連の情報がありましたら、図書館までお寄せください。

参考資料 『二宮町近代史話』(二宮町教育委員会/二宮町/1985/NG B6) 『市川佐太郎回顧録』(山口八郎編/二宮町/1970/N C8) 『園田孝吉伝』(荻野仲三郎著/杉並町/1926) 『財界物故傑物伝 上』(実業之世界社編/実業之世界社/1936) 『高村光太郎彫刻全作品』(高村光太郎著/六耀社/1979)

お知らせ・お願い

おかげさまで貸出者数100万人突破!

開館8周年を迎えた二宮町図書館では、平成20年11月20日に貸出者数が100万人を突破しました。1日に平均すると454人が借りている計算になります。これからもたくさんのご利用をお待ちしています。

新しい雑誌が入りました

「サステナ」(季刊誌)・・・地球環境・社会・人間について真剣に考えたい人のための雑誌

リサイクル市について

2月に予定していたリサイクル市は、来年度に延期になりました。詳しい日程が決まり次第お知らせいたします。

利用者の声 Q&A

Q: 今日の貸出分だけでなく、自分が今借りている本すべてのレシートを出してもらえますか?

A: カウンターで利用カードをご提示ください。貸出日と返却日が記載されたレシートを出すことができます。お気軽にお申し出ください。なお、パスワード登録をしていただくと、ご自分のパソコンから確認ができたたり、館内利用者端末で利用者メニューの貸出照会からレシート印刷することができますのでご利用ください。

行事

くわしくはお問い合わせください。

1月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

1月6日(火)・12日(月)は特別休館です。

2月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

3月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

■ 休館日

 ちいちゃいおはなし会
第2水曜日
(1、2月は第1水曜日)

 おおきいおはなし会 小学生から
おはなし会とおりがみあそび
第3土曜日

 わらべうたであそぼう!
第3金曜日
(3月は第2金曜日)

 雑誌のリサイクルコーナー
第4日曜日

にぎょうげき大会

3月に予定しています。詳細は3月号のお知らせ版及び館内掲示等でご案内する予定です。お楽しみに!

展示テーマ

12月 | 一般 / 『野菜で元気!』
| 児童 / 『クリスマス』
| A V / 『I wish you a merry Christmas!』

1月 | 一般 / 『北の国だより』
| 児童 / 『ことしは丑年!』

特設展示

11月・・・『マイケル・クライトンさんをしのんで』
11~12月・・・『クリスマス・年末・お正月特集』
12月・・・『加藤周一さんをしのんで』
『火坂雅志氏著作展示』
『早乙女貢さんをしのんで』
『キヨノサチコさんをしのんで』(児童特設)

地域資料コーナー 展示ケース

1~3月・・・『二宮ゆかりの人物 吉田いそや五十八』

書庫の本紹介コーナー

1~3月・・・『江戸川乱歩賞の女流作家たち』

ひとつだけ ~編集後記にかえて

昨年12月のエントランスの展示テーブルの担当になり、何を展示テーマにしようか考えていた。今までの12月のテーマをみると、年末や冬にまつわるものの他、その年一年の出版物を振り返る内容のものが多かった。季節の事、時勢の事、テーマを考えるのは楽しいけれど、開館8周年ともなると過去のものとならないようにするものなかなか難しくなってきた。考えた挙句、食関連のテーマがしばらくなかった事に気づいたので、野菜のレシピ関連の本を中心に集めてみた。困った時には万人共通のテーマ「食」に限る・・・かな?

編集・発行 二宮町図書館
住所 二宮町二宮1240-10
☎ 0463-72-6913

ホームページ <http://www.ninomiya-public-library.jp/>

 図書館だよりテーブル版もあります! お問い合わせください。

